



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社安江工務店 上場取引所 東・名
 コード番号 1439 URL <https://www.yasue.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 印田 昭彦 (TEL) 052-223-1100
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,188	△0.5	80	—	79	461.9	37	—
2022年12月期第2四半期	3,204	0.4	5	△90.3	14	△76.4	△6	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 37百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 △6百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	28.21	26.60
2022年12月期第2四半期	△4.88	—

(注) 2022年12月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,249	1,660	37.2
2022年12月期	4,243	1,627	37.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,580百万円 2022年12月期 1,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,436	5.5	242	7.0	239	3.1	136	1.0	103.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 2 Q	1,350,760株	2022年12月期	1,340,060株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	28,584株	2022年12月期	28,584株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 2 Q	1,319,038株	2022年12月期 2 Q	1,300,761株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行されるなど社会経済活動の正常化が一段と進む中で、人流が増加し経済環境に改善の兆しも見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、円安の進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、こどもエコすまい支援事業等の政府による後押しがあるものの、資源価格の高騰を受けた木材・住宅設備機器等の値上げによる消費マインドの低下、設計職・施工監理職など専門職技術者の人材不足など、依然として厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社グループは「すべてのお客様に安らぐ『住まい』を提供し、一生のおつきあいをする」ことをミッションに掲げ、お客様にとって価値あるサービスが提供できるよう、住宅に関するニーズにワンストップで応え、すべての相談に乗ることができる利便性の高い体制の構築に努めてまいりました。

また、2021年2月に策定した中期経営計画の3つの基本方針「競争力強化」「成長拡大戦略」「環境変化への対応力強化」に基づき、2030年に売上高300億円達成を目標とする長期ビジョン「Vision 2030 forward 300」の実現に向けて、グループブランド「r-cove* (アール・コーブ)」の強化・浸透を図り、グループ内のシナジーを最大限に発揮してグループ全体で収益拡大に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力の住宅リフォーム事業において大型工事などの受注が堅調に推移したものの、新築住宅事業において前期からの繰越受注棟数の減少により引渡し棟数が大きく減少したことから、売上高は前年同期比で微減となりました。一方で、利益面につきましては、テレビCM・YouTubeなどのSNSを活用した効果的な広告宣伝戦略による経費節減に加え、相対的に利益率の高い住宅リフォーム事業の業績が伸長したことにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,188百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は80百万円（前年同期は営業利益5百万円）、経常利益は79百万円（前年同期比461.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

(住宅リフォーム事業)

住宅リフォーム事業におきましては、建築士などの資格を有するデザイナーによる機能性・デザイン性の高いリフォームを提供するとともに、屋根・外壁塗装等の外装や玄関アプローチ・カーポート等のエクステリアに特化した専門部署において、専門性の高いノウハウを活かした提案を行うなど、安定的な営業活動を展開してまいりました。加えて、当社リフォーム店舗に併設している子会社のインテリア販売拠点を活用し、住宅リフォームに家具やカーテンをセットでコーディネートするなど、グループ内のシナジーを活かしてお客様満足度の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、増改築やリノベーションなどの大型リフォーム工事や、外装やエクステリアなどの専門性の高い工事の受注が好調に推移したことに加え、政府による各種補助金事業の後押しもあったことから、売上高は2,749百万円（前年同期比8.0%増）となり、セグメント利益は98百万円（前年同期はセグメント利益8百万円）となりました。

(新築住宅事業)

新築住宅事業におきましては、オリジナル建材である「無添加厚塗りしっくい。」や、無垢の木材、薩摩中霧島壁などの自然素材を活かし、デザイン性や機能性を高めた4つの注文住宅ラインナップを揃えており、お客様のニーズに合わせた提案を行うとともに他社との差別化に注力してまいりました。また、打合せや完成見学会・構造見学会においてオンラインの活用を促進するなど、営業活動の効率化にも取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、木材・住宅設備機器等の値上げに伴う消費マインドの低下が続いており、前年同期に比べ前期からの繰越受注棟数の減少により引渡し棟数が大きく減少したことから、売上高は142百万円（前年同期比57.4%減）となり、セグメント損失は51百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）となりました。

(不動産流通事業)

不動産流通事業におきましては、地域密着型の強みを活かして良質な小規模分譲地の仕入れに注力し、自社での新築注文住宅や新築分譲住宅用地として活用するなど、事業間のシナジーを発揮してまいりました。また、買

取再販物件に当社グループの強みであるリノベーション・デザインリフォームをコーディネートしてお客様に提案するなど、資産価値の創造・魅力ある住まいづくりを積極的に推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、買取再販物件の取扱数が減少したことから、売上高は295百万円（前年同期比8.4%減）となりました。利益面につきましては、利益率の高い不動産仲介や、不動産仲介時に提案するリフォーム工事が堅調であったことから、セグメント利益は33百万円（前年同期比470.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,961百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円増加いたしました。これは主に現金預金が142百万円、売上債権が44百万円減少したものの、未成工事支出金等が120百万円、販売用不動産が172百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少いたしました。これは主に建物・構築物が40百万円、土地が27百万円、のれんが25百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円増加いたしました。これは主に仕入債務が87百万円、未払金が16百万円、未払法人税等が23百万円、賞与引当金が17百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が56百万円、未成工事受入金が264百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は711百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が183百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少39百万円があったものの、新株予約権の増加22百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加37百万円、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加12百万円があったこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて142百万円減少し、1,098百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は34百万円（前年同期は35百万円の資金の減少）となりました。これは主に棚卸資産の増加232百万円、仕入債務の減少87百万円、法人税等の支払額55百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益79百万円、減価償却費25百万円、売上債権の減少44百万円、未成工事受入金の増加264百万円等の増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は22百万円（前年同期は87百万円の資金の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出18百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は154百万円（前年同期は81百万円の資金の減少）となりました。これは主に長期借入れによる収入100百万円、株式の発行による収入12百万円があったものの、長期借入金の返済による支出227百万円、配当金の支払い38百万円があったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日に「2022年12月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,240,739	1,098,051
完成工事未収入金	208,644	185,625
売掛金	48,340	27,066
未成工事支出金等	143,449	264,164
販売用不動産	1,168,059	1,340,799
材料貯蔵品	13,973	14,316
その他	35,935	31,195
貸倒引当金	△283	△179
流動資産合計	2,858,858	2,961,040
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	392,398	352,192
土地	627,924	600,497
建設仮勘定	3,637	7,988
その他(純額)	37,854	39,475
有形固定資産合計	1,061,815	1,000,155
無形固定資産		
のれん	156,806	131,777
ソフトウェア	15,524	12,969
その他	2,067	3,067
無形固定資産合計	174,398	147,814
投資その他の資産		
投資有価証券	4,265	4,254
繰延税金資産	69,246	60,229
その他	74,531	76,076
投資その他の資産合計	148,043	140,561
固定資産合計	1,384,257	1,288,531
資産合計	4,243,116	4,249,571

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	463,950	384,294
買掛金	25,170	17,615
1年内返済予定の長期借入金	465,759	521,898
未払金	111,986	95,570
未払法人税等	60,924	37,107
未成工事受入金	394,279	658,811
賞与引当金	58,928	41,561
完成工事補償引当金	31,806	31,922
その他	107,394	88,407
流動負債合計	1,720,202	1,877,188
固定負債		
長期借入金	876,083	692,357
その他	19,071	19,320
固定負債合計	895,154	711,677
負債合計	2,615,356	2,588,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,858	263,080
資本剰余金	246,187	252,409
利益剰余金	1,095,916	1,093,776
自己株式	△28,293	△28,293
株主資本合計	1,570,668	1,580,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△340	△348
その他の包括利益累計額合計	△340	△348
新株予約権	57,431	80,081
純資産合計	1,627,759	1,660,705
負債純資産合計	4,243,116	4,249,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,204,475	3,188,208
売上原価	2,185,163	2,103,190
売上総利益	1,019,311	1,085,018
販売費及び一般管理費	1,013,459	1,004,501
営業利益	5,852	80,517
営業外収益		
受取利息及び配当金	121	101
補助金収入	10,315	588
売電収入	974	1,001
その他	1,240	1,994
営業外収益合計	12,651	3,685
営業外費用		
支払利息	2,362	2,035
売電費用	316	545
支払手数料	235	423
その他	1,400	1,472
営業外費用合計	4,314	4,477
経常利益	14,189	79,725
特別利益		
固定資産売却益	—	27
新株予約権戻入益	32	14
特別利益合計	32	41
特別損失		
固定資産売却損	880	—
固定資産除却損	—	508
特別損失合計	880	508
税金等調整前四半期純利益	13,341	79,259
法人税、住民税及び事業税	15,883	33,035
法人税等調整額	3,804	9,019
法人税等合計	19,688	42,055
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,346	37,203
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,346	37,203

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,346	37,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	253	△7
その他の包括利益合計	253	△7
四半期包括利益	△6,092	37,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,092	37,196

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,341	79,259
減価償却費	24,404	25,430
のれん償却額	26,659	25,028
株式報酬費用	20,182	22,697
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△104
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,688	△17,367
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△388	115
受取利息及び受取配当金	△121	△101
支払利息	2,362	2,035
支払手数料	235	423
新株予約権戻入益	△32	△14
固定資産除売却損益 (△は益)	880	480
売上債権の増減額 (△は増加)	44,776	44,292
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△44,164	△232,383
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,996	△87,211
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	102,482	264,531
未収消費税等の増減額 (△は増加)	11,136	△1,823
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,988	△21,641
その他	△52,694	△14,915
小計	51,347	88,733
利息及び配当金の受取額	121	101
利息の支払額	△2,264	△2,210
法人税等の支払額	△84,990	△55,310
法人税等の還付額	-	2,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	△35,787	34,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,157	△18,437
無形固定資産の取得による支出	△1,123	△1,000
その他	7,429	△3,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,851	△22,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	40,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△169,455	△227,586
短期借入金の純増減額 (△は減少)	80,000	-
配当金の支払額	△32,067	△38,974
株式の発行による収入	157	12,410
その他	△182	△380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,547	△154,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	137	100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△205,049	△142,687
現金及び現金同等物の期首残高	1,526,547	1,240,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,321,497	1,098,051

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	合計
	住宅リフォーム事業	新築住宅事業	不動産流通事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,546,116	335,744	302,484	3,184,345	—	3,184,345
その他の収益	—	—	20,129	20,129	—	20,129
外部顧客への売上高	2,546,116	335,744	322,613	3,204,475	—	3,204,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,239	—	—	3,239	△3,239	—
計	2,549,356	335,744	322,613	3,207,715	△3,239	3,204,475
セグメント利益又は損失(△)	8,717	△8,781	5,915	5,852	—	5,852

(注) 1. 売上高の調整額△3,239千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	合計
	住宅リフォーム事業	新築住宅事業	不動産流通事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,749,710	142,953	273,021	3,165,685	—	3,165,685
その他の収益	—	—	22,523	22,523	—	22,523
外部顧客への売上高	2,749,710	142,953	295,544	3,188,208	—	3,188,208
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	30	—	30	△30	—
計	2,749,710	142,983	295,544	3,188,239	△30	3,188,208
セグメント利益又は損失(△)	98,237	△51,490	33,770	80,517	—	80,517

(注) 1. 売上高の調整額△30千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。